



# CIESF NEWS LETTER

2013 March 第14号

公益財団法人CIESFは、非営利で国際的な民間の支援団体です。基礎教育の質の向上を主な目的とし、その上で高度人材育成も行い、カンボジアをはじめとした途上国の発展を支援します。

## 【教育に関する格言⑭】

凡庸な教師は教える。良い教師は説明する。優秀な教師は例を示す。偉大な教師はインスピレーションを与える。  
——ウィリアム・アーサー・ワード

こんには。CIESFをご支援くださる皆さま、いつもありがとうございます。そして、この二ヶ月スレーターを手にして下さった方々、出会いに感謝します。長からた冬ももうすぐ終わります。来月から新しい期に入りまして、皆さま2012年度は大変お世話になりました。

支えてくださるスポンサーの方々、今年も募集いたします。ぜひ一緒にカンボジアの若者の起業を応援しましょう。

「国境なき教師団」とは、国境を越えて教育支援を行うCIESFのベテラン教師たちの組織です。国境なき教師団に所属する教育アドバイザーは毎年大勢の教師の卵を育てているカンボジアの教員養成校の教官たちと一緒に、教師レベル向上のための活動を行っています。

今年で3回目となるカンボジアビジネスモデルコンテスト。応募総数82件(英語での応募)の中から、二次審査を通じて9チームが、実践経営学講座や起業体験のトレーニングを経て、1月26日午前8:30からの最終選考会に出場しました。受賞チームの

日本の経営者とカンボジアの若者が交流しました  
ビジネスモデルコンテスト翌日の1月27日(日)カンボジアの若者と日本起業家たちが交流するイベント「アントレプレナー・フュチュアバル」が開催されました。主催はCIESFを支援くださった法人サポーターである、大久保秀夫塾のメンバーの方々です。当初300人ほどの集客を見込んでいたところ、なんと650人から700人も若者たちが集まり大盛況。終了時に回収し



各チーム15分の持ち時間で英語のプレゼンを行った。その後審査員との質疑応答。プレゼンのレベルも年々上がっている審査員は言う。<カンボジア日本人材開発センター>



←参加者みんなで熱く叫ぶ「がんばろう!」。「立ち見もいっしょ!」と満員御礼



発表は、夕方場所を移してフロンテールで来賓を迎えて行いました。チーム名を呼ばれるまで、出場者たちは緊張の面持ち。3位から順に発表されると、大きな歓声と拍手の中、学生たちはステージに踊り出てきました。ピップチャナン、教育省長官をはじめ、CIESF 大久

たアンケートの中に、私の運命が変わりました。や、空まされてきて今まで一番素敵なお日でしたという回答がいくつもあつたのです。集まり若者の幾人かは、チャヤスがある限り若ばたい行こうだろ、たとななくてもチャヤスを自分でつかみに行く、そんなチルギーを感じました。カンボジアの人材育成に関わつてきて、胸が熱くなる1日でした。や

## 「国境なき教師団」

急募! これまでに延べ14名現在6名の日本人の先生が「国境なき教師団」の教育アドバイザーとして、フロンテールとブレイベンの教員養成校で活躍されています。理数科の基礎力が弱いとされているカンボジアでは、理数科限定で支援を行っています。先生たちの活動は、着実に実を結び始めています。現在算数小学校と数学(中学、高校)の教師経験者の方を特に急募しています。教師経験者の方、ぜひお力をお貸しください!

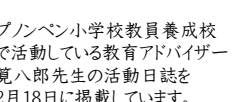
## Facebook

ウェブサイト上のニュースや、CIESFからのお知らせ、裏話などをお届けしています。もっと皆さんと交流したいと思っています。投稿やコメントなども残してただけなら嬉しいです。いただいたコメントに対するお返事100%を目指しています。

<http://www.facebook.com/ciesf>  
「いいね!」をお願いします。

法人サポーター・個人サポーター募集中  
検索

カンボジアオフィススタッフが発信する「現地レポート」、教育アドバイザーの先生たちの日々の活動を綴った「教育アドバイザーの活動日誌」は、CIESFのウェブサイトでも絶賛公開中です!



フロンテール小学校教員養成校で活動している教育アドバイザー 寛八郎先生の活動日誌を2月18日に掲載しています。

ぜひ読んでみてください♪ <http://www.ciesf.org>

発行:公益財団法人CIESF 日本事務局  
〒107-0062  
東京都港区南青山3-17-1 フロムファイブ302  
Tel:03-6439-5990 Mail:info@ciesf.org

「国境なき教師団」は、国境を越えて教育支援を行うCIESFのベテラン教師たちの組織です。国境なき教師団に所属する教育アドバイザーは毎年大勢の教師の卵を育てているカンボジアの教員養成校の教官たちと一緒に、教師レベル向上のための活動を行っています。

2012年9月現在、ブレイベン中学校教員養成校にて、2名の理科教育アドバイザーが活動しています。2011年9月から、物理の指導を行っているのは、大久保博和先生。通訳のアロンさんを手助に、実験を取り入れた指導を行っています。「この先生、カウナーパート」は道具はあっても使われていない。まず私が使うところを見せ、その後交代で実験をしてみます。大久保物理の指導に来て2年目、カンボジアの教師には技術だけではなく、使い方の手順の指導が重要だということがわかってきました。

動物も植物も、自然豊かなカンボジアにはたくさんいます。本ではなく、実際に観察して例えば昆虫の変体について学ぶ、といった授業も取り入れられて見ると、観察から発見の理

編集後記 隔月でお届しているニュースレターですが、1月は休刊をさせていただきました(担当者の風邪・出張・インフルエンザ・厄落しに行った方がいい疑惑)。1月末にカンボジアへ行き、支援現場を見てまいりました。机上で鼻息荒く考えていてもダメ、現場を見て考えるべきことがたくさんあることを再確認。行けてよかったと実感しています。あとは、その様子を皆さまにどうやって伝えるか、ここが重要な課題です。ひとりでも多くの方に関心を持っていただけるよう、これからも広報してまいります。疑問、質問、アドバイス、オトナの主張など何でも受け付けておりますのでお気軽に事務局までご連絡ください。(Y.M)